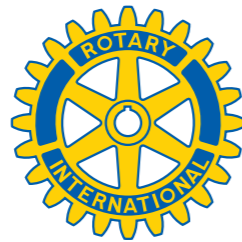


2012-2013 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

3



奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

風花鳥
月鳥



田中作次



国際ロータリー第2510地区

2012-2013年度ガバナー 細川好弘

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ.....	1
ロータリー財団ゾーンチーム研修を受講して.....	2
第6回全国RYLA研究会報告.....	4
「第14回ロータリー国際囲碁大会」のご案内／ 『DVD／田中作次物語』のご紹介.....	6
米山寄付・ロータリー財団寄付／クラブ・ホームページアドレスの 変更について／クラブ・FAX番号の変更について.....	7
新会員のご紹介・文庫通信.....	8
地区カレンダー.....	9
出席率・会員数.....	10

3月のことば

四季折々の美しい景色やその移り変わり、また自然の美しさを愛でる風流を楽しむ季節であります。花も鳥も月も心があるわけではありません。

人間の美しい心のありようが、美しい風物を楽しむことになるのでしょうか。

人間の心の世界がそこにあります。

ガバナー 細川好弘 書





桜が咲き誇る日本列島。 社会教育の源流「修養団」に学ぶ。

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー 細川好弘 (静内RC)

天も地も躍動の春です。自然の美しさを愛でる春景色を楽しむ季節でもあります。

新緑は春の色でもあるところから夢や希望に満ち活力みなぎる青春時代、ロータリー家族、新世代がイメージできます。3月はローターアクト週間がありますが、過ぎし日ロータリアンも新世代でありました。国際ロータリーの新世代奉仕プログラムに毎年25万人以上の青少年が参加しております。

第2510地区では7年ぶりにライラ委員会によるライラプログラムが地区大会と並行して実施され、その基調講演として公益財団法人修養団の講師久世郁夫氏に「愛と汗の心」と題してお話を伺いました。

この修養団は日本の社会教育の基礎を築いたとされる蓮沼門三(明治15年生れ)さんが、東京府師範学校(現在の東京学芸大学)で1906年(明治39年)、ロータリー創立の1年後に創立されております。蓮沼さんは苦学の末の入学だったのですが、教育者を志す学生達の寄宿舎は掃除も行き届かず校風も乱れていたようです。

そこで「天下を動かそうと思う者は、まず自らが動かねばならない」という蓮沼さんの持論に従い、一人で廊下の拭き掃除や便所掃除を始めたのですが、陰口をたたかれるので掃除はみんなが寝静まった後や、目覚める前にするのですが、今度はバケツを蹴飛ばしたり、掃除の後にわざとドロ靴で歩くなどの嫌がらせもあったのです。そうこうして一年ほど経過したある寒い冬の朝、剣道の寒稽古で手にケガをしていましたが門三はいつも通りに雑巾をバケツに浸します。水はたちまち血で赤黒く濁りました。そこを真っ先に妨害していた一人が通りかかり「蓮沼君、悪かった。おれにも手伝わしてくれ。」この一人の共鳴者から輪が広がり、その行動に胸を打たれた同志たちと風紀改正会をつくったのが修養団の原点であり、日本に於ける社会教育の源流だと伝えられております。

1905年(明治33年)に創立した国際ロータリーも2004年100年を記念する国際大会が大阪で45,381人という過去最高の登録者数で盛況でありましたが、修養団も2005年、天皇皇后両陛下の行幸啓を受けて100年記念式典を明治神宮会館で開催しております。

文科省所管の社会教育団体でありますから、子供を対象にした自然体験キャンプや恵まれない子供たちの国際交流、企業職員や公務員の研修、婦人の集い等のプログラム、講師の派遣など幅広く事業を展開しております。国内外にも支部を組織され、修養は日々の暮らしの中にあることを肝に銘じて「学び」は今なお続けられております。

たくましい人間を育てるためにNPO法人の親と子のマナーキッズプロジェクト事業に取り組んでおられるロータリークラブにも頭が下がります。

3月は識字率向上月間で、1986年以来国際ロータリーの強調事項です。ユネスコによると世界で9億人以上の人々は読み書きができません。その3分の2は女性です。日本では99.8%と世界最高の識字率ですが、成人そして子供に向けて読書のプログラムや学校に本を寄贈すること、地元の図書館を援助することが要請されております。

田中作次RI会長は自分の人生が完全に変わったと恩師への感謝の言葉がありました。

ロータリアンの皆様も数多く恩師の恩恵を受けられておられると思います。

学びの新学期、日本列島に咲き誇る桜。桜をモチーフにデザインされた2012-13年度のRIテーマ「奉仕を通じて平和を」築けるかどうかは「超私の奉仕」を実践するロータリアン、私たち次第です。



ロータリー財団ゾーンチーム研修を受講して

次期地区財団資金管理委員会

委員長 久保田俊昭 (札幌RC)

去る2月12日(火)、次年度を対象とした第1・2・3ゾーン合同の表記セミナーが「国立オリンピック記念青少年総合センター」において午後1時から5時まで開催され、当地区からは安孫子建雄ガバナー・エレクト、遠藤秀雄次期地区財団委員長、小生の3名が受講しました(全国から162名参加)。

以下に、その概要をご報告させていただきます。

1. 開会の言葉(江崎柳節RRFC)

いよいよこの7月から「未来の夢計画」が全世界で本実施されるが、それに先立って昨年の10月には地区認定が開始され、またこの数か月間、種々の手続きがスタートすると共に各種の研修が実施されているが、今回のセミナーで疑問点を解消して貰いたい(昨年11月には財団セミナーの実施と地区補助金のオンライン受付開始、今年の1月にはグローバル補助金とパッケージ・グラントの開始並びに国際協議会での次期ガバナーと次期財団委員長向けの研修実施等)。

衰退の傾向気味のロータリーに、財団としての革新的な夢計画を実施して反転攻勢をかけ、奉仕活動を実践してクラブ活性化、会員増加に繋げて貰いたい。

2. TRF管理委員挨拶(小沢一彦トラスティー)

近年、日本の会員は4万人も減少して衰退傾向にあるが、世界的には奉仕活動を活発に実践して目を見張るものがある。東日本大震災救援では全世界から840万ドルの支援を受けた。また大震災被害を受けた東北地域では、RIを脱会したクラブは皆無であるが、反面、昔ながらの伝統的な活動を続けて会員減少が続き、仲間割れを起こしてRIを脱会したクラブがあり心すべきことである。寄付は強要するものではないが、日本ロータリーの再生に向けて、日本の34の地区においては競いつつ、誇りを持って未来の夢計画を推進して奉仕活動を実践して貰いたい。

3. 2013-14年度ロータリー財団の目標(岩淵均 次年度RRFC)

国際協議会で、2013-14年度ロータリー財団管理委員長の「李東建氏」が発表した目標は次の4項目である。

- ①ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。
- ②新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。
- ③より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。
- ④年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。

4. End Polio Nowの最新情報（金杉誠 第2ゾーン・ポリオ撲滅コーディネーター）

WHOの見通しでは、2014年には野性型のポリオの撲滅の可能性が高いとのことであるが、ロータリーとしては今後3年間で75百万ドルの新たな寄付を行うことを国連の場で表明している。田中作次RI会長も最注力でポリオ撲滅議員連盟と会談するなど熱心に取り組んでおられ、世界を挙げて政官民一致団結して推進しなければならない。

5. Future Vision 各論（分科会での発表、討論等）

ゾーン別に3つの分科会に分かれ、①補助金申請手続きの今後、②補助金管理セミナー、③三補助金の地区における方針について意見交換を行いました。しかしながら、各地区が抱えている問題や進捗状況が区々であるために集約すること無しに終えましたが、発表地区の主要な論点は下記の通りで、当地区としての悩みや課題と相共通するものがあり参考になりました。

- ①ロータリー活動を変革する大きなステップでもあり、補助金を多くのクラブに活用して頂いてクラブ活性化に繋いでいきたい。
- ②寄付をお願いする（集める）、そして活用する（使う）ことによって財団への関心を高め、また寄付金は公金でもあるので、管理、監督、監査に注力せねばならない。
- ③セミナーを受けないクラブには補助金の活用を認めない。また補助金申請書の書き方を十分指導する必要がある。なお、寄付ゼロのクラブから補助金申請があった場合の処置策に苦慮する。
- ④如何なるテーマでV T Tやグローバルを展開していくか苦慮している。
- ⑤地区並びにクラブでの財団委員会と奉仕グループ委員会（国際や社会奉仕）との連携を密にして、補助金活用を図っていきたい。
- ⑥発展途上国への支援に関しては、事後の成果と継続性の確認のために「検証」が不可欠である。
- ⑦財団の活動状況を積極的にクラブに伝えていかねばならない（守りから攻めへ。11月の財団月間以外にもクラブへ伝達）。



第6回全国RYLA研究会報告

地区RYLA委員会

委員長 舛田 雅彦 (札幌南RC)

2013年2月9日、グランドプリンスホテル新高輪において第6回全国RYLA研究会が実施されました。この研究会は、地区におけるRYLA活動を充実させることで新世代プログラムをさらに発展させることを目的に開催されているもので、今年度からRYLAを再開することになり、蓄積がない当地区にとっては貴重な情報収集の機会となるものでした。

当日は、地区の柳新世代奉仕委員長と一緒に参加しましたが、新世代関連では、同日に熊本でローターアクトの全国研究会も開かれていたということで参加者が分散してしまい、日程については若干の不満が残ったところです。

また、当日は大会委員長の今井鎮雄元R I 理事（神戸西RC）がインフルエンザで急遽欠席となっており、進行は大きく変更になりましたが、研究テーマは予定通りに消化されました。

冒頭、「ロータリーの新世代奉仕について」というテーマで、南園義一元R I 理事（防府RC）の基調講演がありましたが、後に予定されていた今井大会委員長の「RYLAは青少年に何を与えようとしているのか」という講演の内容にも触れられました。

そのお話の中で特に詳しく説明されていたのが、ロータリーの友1月号の横書き18ページ以下にある「ロータリーの目的」についてでした。これまでは「ロータリーの綱領」と訳されていた「The Object of Rotary」が「ロータリーの目的」となり、その内容も従前のものと変わっているということは、恥ずかしながら、このお話を聞くまでは私も知りませんでした。皆さんにも、ロータリーの友をご一読いただいて、新「ロータリーの目的」を理解されることをお勧めいたします。

ちなみに、この新「ロータリーの目的」については、2013年に入ったら有効という前提で刊行物を作成しているものの、PETSや地区協議会の資料としては間に合わないので、7月1日から変更したものを使用する予定とのことでした。

続いて、R I 委員会の報告として、御手洗美智子R I ーRYLA委員と海沼美智子R I ローターアクト・インターアクト委員のお話がありましたが、R I の中で一旦消えかかったRYLAが、関係者の努力によって、2011-12年にR I のRYLA委員会が復活し、2014年シドニー国際大会の際に国際RYLAが再開することになった経緯が説明されました。

ただし、この国際RYLAは3年間のパイロットプログラムとしてR I 理事会で承認されているので、3年間で経費をかけずに質の良いプログラムを提供できなければ、継続できなくなるため、継続できるように協力をお願いしたいとのことでした。

午後からは、RYLArianの報告ということで、ニューヨーク大学に財団親善奨学生として留学した大岡ヨトさんと、ロータリアンの子弟で交換留学生の経験もある松岡豪さんが、自らのRYLAによって得たものと留学経験のお話をしてくれました。二人とも社会貢献に意欲的に取り組んでおり、ロータリーの新世代プログラムが効果を発揮した好例とを感じる発表でした。



特に、松岡さんが最後にロータリアンに伝えたいこととして言われた、「チャンスを待っている人は沢山いる。その人たちにロータリーが知られていないのはもったいない。未来のロータリアンを作りたいというのであれば、難しい言葉を使わないようにして欲しい。」という話は、新世代を育てようと思っている私たちに対して、勇気と示唆を与えてくれる内容でした。

最後は、パネルディスカッションで、RYLA設営側の経験談と苦労話が発表されました。

第2550地区では、鈴木宏ガバナーから、自らが音頭をとってRYLA委員会を再構築し、全員が新任の委員でRYLAを実施したお話がありました。「地域のホープをロータリアンが見出して、クラブがスポンサーになって育成する。R Iのプログラムの中で唯一、全てのクラブが参加できるプログラム。」というRYLAの意義を明確にお話いただいたのは大変参考になりました。

ちなみに、今年度の同地区のRYLAは170万円の予算で、一人2万円の参加費は各クラブの負担となりますが、参加者にはトートバックとポロシャツを記念品としてお渡ししたということです。各クラブには、地域のホープを自分たちで探すために、大学や企業訪問をすることを推奨しているとのことでした。

第2760地区の谷山芳和RYLA委員からは、同地区が、1993年から各分区持ち回りでホストクラブを決めてRYLAを実施しているということが報告されました。1泊2日のRYLAですが、過去の受講生がヤングカウンセラーとして協力し、そのヤングカウンセラーをRYLA委員が教育するというスタイルで実施しているとのことでした。

受講生は120名くらいで、地区内の各クラブに2名ずつの推薦をお願いしているが、3分の1が非協力的という苦労話も聞かせていただきました。

今期で32回目のRYLAを実施する第2700地区の松藤啓介新世代奉仕委員長からは福岡を中心とした同地区の取り組みが報告されました。同地区には、常設のRYLA委員会を持っているクラブが4つあるのですが、RYLAのコンセプトをロータリアンが共有することが大事ということで、地区委員会がアンケートを取ったところ、61クラブ中21クラブから卓話希望があったということで、地区委員が手分けをして卓話に回っているとのことでした。また、年間15~16回の委員会を開催しているということで、その活発な活動には驚かされました。

その後、新世代全般に関して質疑応答がありましたが、興味深かったのはローターアクトの活動についてでした。

外国のローターアクトは自立しており、ホストクラブの資金援助は基本的にはなく、自分たちで資金を集めて活動しているということです。日本のローターアクトにいきなり自立を求めたらクラブの存続が危うくなるのではないかと不安もあるところですが、外国のアクトのメンバーの意識の高さを学んで欲しいと思って聞いていました。

また、フロア発言として、新世代奉仕の活動について、「人数にはこだわらず、少人数でも素晴らしい人を育てるという方針が良いのではないか。一人でもすごい人が出たら百人力である。」という意見があったのも興味深い視点でした。

そのほか、RYLAのプログラムについて、「国際RYLAでは、自立を教えてくれ、子供達に何かを作り上げることの達成感を伝える。」ということや、「各人にスピーチをさせ、十分な時間がないところで何でもやらせ、自分自身がちゃんとしなければならないということを感じさせるプログラムを提供する。」ということで子供たちは飛躍的に変わるという教育効果が述べられました。

「良い資質を持っている人に良いプログラムを提供すれば、セミナーが終わった時にぐっと成長するのが分かる。」という報告もありましたが、私たち設営側で考えることは、良い資質を持った若者をいかに各クラブに推薦してもらうか、そして、参加者が納得できるだけの良いプログラムをいかに作り上げるかということです。今回の研究会はそのヒントに富んだ内容で、とても参考になりました。

次年度以降のRYLAの運営にこの経験を生かしていかなければと思いつつ会場を後にしました。

「第14回ロータリー国際囲碁大会」のご案内

拝啓 ようやく立春を迎え、貴クラブの皆様方、ご清栄の事とお慶び申し上げます。

私ども、囲碁好きのロータリアンで結成するロータリー囲碁同好会（GPF R）は2000年3月、日本、韓国、台湾に支部を置き、毎年春に碁盤を通じて親睦と国際交流を図る目的で3か国持ち回りの国際囲碁大会を開催しております。今回は韓国・大邱市において、以下の要領で「第14回ロータリー国際囲碁大会」を開きますので、クラブ会員の皆様に大会参加を呼びかけて戴きますようお願い申し上げます。

大会は上級者（五段以上）、中級者（三段～四段）、初級者（二段以下）の3クラス制の早碁戦です。上級者クラス優勝者は1年間「ロータリー囲碁世界チャンピオン」の称号を名乗ることが許されます。GPF Rは日本発進第1号のR I認証の国際親睦グループ（国際奉仕活動）で、日本支部では秋に全国大会も開催しています。GPF R活動については、下記のホームページをご覧ください。大会参加はメイクアップになります。 敬具

<記>

日時 2013年4月12日（金）14：00開会式
4月13日（土）18：00表彰式。終了後に晩餐会
会場 韓国・大邱市中区西門路2街66 徳榮歯科病院ビル内大ホール
主催 ロータリー囲碁同好会
登録料 14,000円
（歓迎夕食会、晩餐会、競技中の飲食、賞品、同伴者への小旅行代等含む）

大会参加のお申し込みは、氏名、地区、クラブ名、年齢（女性は不要）、級段位を明記して、所属ロータリークラブを通じて、下記のGPF R日本支部宛にFAX（03-3452-1652）でご連絡下さい。4月12日発の釜山行き航空便はすでに満席状態のため、日本支部では4月11日夕までに国内各地より釜山市内のホテルに現地集合し、大邱市を往復する団体旅行を急遽、企画しました。この企画は3月4日（月）の締め切りです。大会の最終締め切りは4月2日（火）です。参加要領等をFAXで返信いたします。お問い合わせ等も上記FAXにてお願い致します。

GPF R日本支部幹事 太田清文（東京RC）

ロータリー囲碁同好会・日本支部 〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内
名誉会長 田中 毅 (2680地区PDG)
会長 石井 良昌 (2680地区PDG)
日本支部長 新藤 信之 (2750地区PDG)
GPF R日本支部へのご連絡は専用FAXへお願いします。FAX03-3452-1652
ホームページ <http://www.gpfr.jp>

『DVD／田中作次物語』のご紹介

国際ロータリー第2770地区の田中徳尚ガバナーより、田中作次R I会長記念版として「田中作次物語」のDVDを制作し、ポリオ完全撲滅に向けて、ポリオに千円ご寄付いただきますと1枚贈呈するというスタイルで配布したいとご案内がございました。（枚数に限りがあり、予定数量がなくなり次第受付終了となりますのでご留意下さい）

DVDご希望のクラブはお手数ではございますが、ガバナー事務所までお問合せ下さい。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

札幌RC	指川 司 会員(1回) 1月11日	小樽RC	笠間 茂 会員(1回) 1月9日
新札幌RC	有田 京史 会員(3回) 1月31日	余市RC	谷川 淑郎 会員(8回) 1月18日
新札幌RC	清水 昭子 会員(4回) 1月31日	◆米山功労クラブ	
新札幌RC	武田 充広 会員(1回) 1月31日	小樽RC	(11回) 1月9日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆メジャードナー

岩見沢RC 佐藤 紀征 会員(ババ) 1月

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別RC 沼前 治孝 会員(1回) 1月

芦別RC 滝 勝美 会員(1回) 1月

芦別RC 土山 久男 会員(2回) 1月

当別RC 前田 啓詞 会員(2回) 1月

当別RC 泉亭 俊徳 会員(2回) 1月

当別RC 高谷 茂 会員(1回) 1月

札幌北RC 阿部 弘 会員(1回) 1月

札幌幌南RC 田澤 泰明 会員(2回) 1月

札幌南RC 片山 英男 会員(2回) 1月

札幌南RC 武部 實 会員(2回) 1月

新札幌RC 有田 京史 会員(2回) 1月

新札幌RC 石田 茂夫 会員(2回) 1月

新札幌RC 清水 昭子 会員(3回) 1月

函館亀田RC 秋田 正悦 会員(2回) 1月

函館亀田RC 稲葉 直房 会員(1回) 1月

函館亀田RC 豊田 千春 会員(1回) 1月

函館東RC 宮崎 裕之 会員(2回) 1月

◆ポール・ハリス・フェロー

札幌RC 福山 眞司 会員 1月

札幌北RC 出村知佳子 会員 1月

札幌東RC 木村 隆夫 会員 1月

札幌南RC 田尾 大樹 会員 1月

札幌南RC 星野 尚夫 会員 1月

札幌南RC 松原 良次 会員 1月

札幌南RC 田辺 俊一 会員 1月

新札幌RC 武田 充広 会員 1月

浦河RC 富田 輝次 会員 1月

江差RC 赤石智恵美 会員 1月

苫小牧RC 柳瀬留美子 会員 1月

■ クラブ・ホームページアドレスの変更について

函館東RCのホームページアドレスが下記の通り変更となっておりますのでお知らせ致します。宜しくお願い申し上げます。

<http://hakodate-east.hbf.ne.jp/>

■ クラブFAX番号の変更について

千歳セントラルRCのFAX番号について下記の通り新設されましたので宜しくお願い申し上げます。

旧：0123-26-5788

新設：0123-25-9112

新会員のご紹介

(敬称略)



北広島RC
元木 芳美
9月1日入会
運輸業



長沼RC
小西 教夫
12月10日入会
一般教育



羽幌RC
佐藤 満
1月10日入会
漁業



千歳RC
伊藤 一三
1月10日入会
不動産賃貸



苫小牧北RC
赤川 勉
1月29日入会
石材加工



千歳RC
前田 浩志
1月31日入会
総合建設工事



滝川RC
幾田 雅彦
1月31日入会
公益財団法人



(305号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー文庫の資料より (4)

◎「博愛を広げるロータリーの心」	ビチャイ・ラタクル	2012	8p (D.2800地区大会記録)
◎「リーダーシップの継続」	ビチャイ・ラタクル	2012	4p (D.2800地区大会記録)
◎「地区研修リーダーとして」	道下 俊一	2012	2p (D.2500ガバナー月信)
◎「ロータリークラブが『核』となり連携を促進する地域活動～東京中央ロータリークラブの取組」	武笠 和夫	2012	6p (社会教育)
◎「ロータリー、この素晴らしい世界」	関場 慶博	2008	28p (ロータリー シェアーズ)
◎「ロータリーにおけるリーダーシップ」	深川 純一	2008	25p (ロータリー シェアーズ)
◎「職業奉仕 理論と実践の徹底的分析」	田中 毅	2008	20p (ロータリー シェアーズ)
◎「東日本大震災復興支援 災害支援プロジェクト報告書」		2012	142p (D.2660)
◎「国際ロータリー職業奉仕推進委員会2011-12年度年次報告」	黒田 正宏	2012	138p

[上記申込先：ロータリー文庫]

地区カレンダー (3月・4月)

3月 識字率向上月間		4月 ロータリー雑誌月間	
1 (金)		1 (月)	
2 (土)	2013年3月終了米山奨学生歓送会(札幌)	2 (火)	
3 (日)		3 (水)	
4 (月)		4 (木)	
5 (火)		5 (金)	
6 (水)		6 (土)	
7 (木)		7 (日)	第12グループIM (苫小牧)
8 (金)		8 (月)	
9 (土)	会長エレクト研修セミナー (江別)	9 (火)	
10 (日)	会長エレクト研修セミナー (江別) 地区ロータリー財団・米山セミナー (江別)	10 (水)	
11 (月)		11 (木)	
12 (火)		12 (金)	
13 (水)		13 (土)	2013学年度米山奨学生オリエンテーション他(札幌)
14 (木)		14 (日)	2013-14年度地区協議会 (岩見沢)
15 (金)		15 (月)	
16 (土)	第9グループIM (室蘭)	16 (火)	
17 (日)	第7グループIM (千歳)	17 (水)	
18 (月)		18 (木)	
19 (火)	第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナー(東京)	19 (金)	
20 (水)	春分の日	20 (土)	第10・11グループ合同IM (函館)
21 (木)		21 (日)	～26(金) 規定審議会 (米国・シカゴ)
22 (金)		22 (月)	
23 (土)	第4・第5グループ合同IM (札幌)	23 (火)	
24 (日)		24 (水)	
25 (月)		25 (木)	
26 (火)		26 (金)	～27(土) 第3700地区大会 (韓国・大邱)
27 (水)		27 (土)	
28 (木)		28 (日)	
29 (金)		29 (月)	昭和の日
30 (土)		30 (火)	
31 (日)			

2013年3月のロータリーレート 1ドル92円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.1.31	増 減	内女性	
1	深 川	4	37	36	-1	2	85.00
	羽 幌	4	46	48	2	2	80.93
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	81.25
	留 萌	4	43	42	-1	3	92.38
	小 計		136	138	2	7	84.89
2	赤 平	4	28	32	4	0	76.70
	芦 別	4	37	37	0	1	74.26
	砂 川	4	47	47	0	0	93.48
	滝 川	4	84	85	1	2	74.00
	小 計		196	201	5	3	79.61
3	美 唄	4	33	31	-2	0	83.78
	江 別	4	34	36	2	1	77.07
	江 別 西	4	26	25	-1	3	91.00
	岩 見 沢	4	80	81	1	0	89.24
	岩 見 沢 東	4	21	23	2	2	82.25
	栗 沢	4	23	23	0	1	91.00
	栗 山	3	23	23	0	2	94.20
	当 別	4	27	28	1	1	89.29
	小 計		267	270	3	10	87.23
4	札 幌	4	110	123	13	0	98.53
	札幌あけぼの	3	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	4	17	15	-2	3	88.33
	札 幌 北	3	32	36	4	5	83.47
	札幌モーニング	4	44	49	5	0	69.19
	札 幌 西	4	47	50	3	6	87.53
	札 幌 西 北	4	33	34	1	3	86.80
	札 幌 手 稻	4	31	33	2	3	93.70
	小 計		329	355	26	22	88.44
5	札 幌 東	4	121	123	2	0	98.24
	札 幌 清 田	4	20	20	0	6	100.00
	札 幌 幌 南	3	50	50	0	0	100.00
	札幌真駒内	4	23	21	-2	3	100.00
	札 幌 南	3	80	80	0	0	96.67
	札幌大通公園	4	12	15	3	1	64.97
	札幌セントラル	4	7	7	0	3	88.60
	新 札 幌	4	27	27	0	3	74.63
	小 計		340	343	3	16	90.39
6	岩 内	4	21	21	0	0	85.00
	倶 知 安	4	36	39	3	6	74.00
	小 樽	4	70	70	0	0	84.09
	小 樽 南	3	71	71	0	2	88.03
	小 樽 銭 函	4	20	21	1	2	80.00
	蘭 越	3	10	12	2	0	91.70
	余 市	4	43	42	-1	4	81.70
	小 計		271	276	5	14	83.50

1
月
出
席
率
・
会
員
増
減
数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,652人(116人)
増加会員数	92人
当月平均出席率	84.11%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.1.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	53	4	3	88.33
	千歳セントラル	4	33	36	3	3	79.16
	恵 庭	4	42	42	0	3	89.20
	北 広 島	3	16	17	1	0	84.32
	長 沼	2	19	20	1	3	87.50
	由 仁	4	9	8	-1	1	93.75
	小 計		168	176	8	13	87.04
8	え り も	3	26	24	-2	1	91.70
	三 石	2	15	15	0	2	76.60
	様 似	3	24	24	0	1	72.20
	静 内	4	72	73	1	0	71.39
	浦 河	4	34	34	0	1	55.15
	小 計		171	170	-1	5	73.41
	9	伊 達	3	54	53	-1	0
室 蘭		4	40	40	0	0	75.63
室 蘭 東		4	38	38	0	0	78.20
室 蘭 北		4	33	35	2	2	72.15
登 別		4	31	31	0	1	83.87
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	77.00
小 計			205	206	1	3	78.94
10	函 館	4	79	88	9	0	79.68
	函 館 亀 田	3	39	40	1	4	92.22
	森	3	42	43	1	0	76.00
	七 飯	4	15	17	2	0	86.60
	長 万 部	3	8	9	1	0	74.10
	函館セントラル	4	28	31	3	2	70.97
	小 計		211	228	17	6	79.93
11	江 差	4	10	12	2	1	90.00
	函館五稜郭	3	39	49	10	0	90.88
	函 館 東	4	43	46	3	6	78.30
	函 館 北	4	25	25	0	0	86.46
	北 斗	4	15	15	0	0	60.00
	松 前	3	3	4	1	0	100.00
	小 計		135	151	16	7	84.27
12	白 老	4	28	31	3	1	75.00
	苫 小 牧	3	47	53	6	2	83.05
	苫 小 牧 東	4	28	26	-2	4	90.19
	苫 小 牧 北	4	28	28	0	3	88.34
	小 計		131	138	7	10	84.15
合 計		2,560	2,652	92	116	84.11	